

# Kwansei Archives



# Gakuin Lectures

第60回

関西学院史研究会

## 関西学院と岩橋武夫 ーヘレン・ケラーとの交友を中心にー

関西学院大学は戦前から視覚障害者の学生を受け入れてきた。その中の一人に岩橋武夫という人物がいる。彼は卒業後、エジンバラ大学に留学し、帰国後、視覚障害者福祉の発展に寄与した。岩橋は1934年に渡米した際、ヘレン・ケラーを訪問し来日を依頼した。その願いは1937年4月に実現する。ケラーは日本各地だけでなく、満洲まで足を延ばし講演したが、日中戦争の勃発で帰国する。その後も岩橋とヘレン・ケラーは友好関係を築いていたが、アジア・太平洋戦争が勃発し、関係は途絶えた。しかし戦後、1948年8月に二度目の来日が実現する。岩橋武夫という人物に焦点を当て、その生涯を考える。

講師

室田保夫 氏 むろた やすお

関西学院大学名誉教授。1948年生まれ。1976年、同志社大学大学院文学研究科修士課程修了。1996年、同志社大学で博士号取得（社会福祉学）。1999年、関西学院大学社会学部教授。2017年、関西学院大学退職。著書に『キリスト教社会福祉思想史の研究』（不二出版、1994）、『留岡幸助の研究』（不二出版、1998）、『近代日本の光と影：慈善・博愛・社会事業をよむ』（関西学院大学出版会、2012）、『山室軍平：無名ノ英雄、無名ノ豪傑タルヲ勉メン哉』（ミネルヴァ書房、2020）、『大阪児童福祉の先駆 博愛社の史的研究』（共編著、六花出版、2023）などがある。

日時

2025.11.27 | 木 | 13:20 - 15:00

場所

関西学院大学図書館ホール（西宮上ヶ原キャンパス）

無料・申込不要・一般参加歓迎

主催：関西学院 大学博物館 学院史編纂室

0798-54-6022